【Game Report】

試合区分	マスターズ2013北九州大会
日　時	平成25年9月17日（火）
会　場	総合体育館
試　合	男子　決勝　Cコート　13:00
審　判	太田、紀伊、玉江

チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q		合計
東京	20	21	12	22		75
千葉	11	5	6	19		41

選評

決勝戦は昨年優勝の新潟を準決勝で破った東京都と昨年準優勝の千葉県による関東同士の対戦となった。

第1P　両チームハーフコートマンツーマンでスタート。東京が＃18のリング下シュートで先制。その後、お互いパスミスが多く、点が入らない。3分経過後から東京＃18のリング下シュート、＃7のミドルシュートで着実に点差を広げる。対する千葉は早いパス回しから1対1を仕掛けるが、東京の堅いディフェンスに阻まれ、東京20－11千葉で1Pが終了。

第2P　第1P同様、両チームハーフコートマンツーマン。東京は＃18オフェンスリバウンドからのシュートで得点。その後、東京＃7の高さを生かしたシュートが連続で決まる。千葉はスクリーンを使って攻めるが、思うように点数が入らず、残り3分50秒、東京33－13千葉でタイムアウト。しかし、東京の高いディフェンスに阻まれ、千葉＃8の3Pのみで外回しからのシュートが続き、41－16東京リードで前半が終了。

第3P　東京＃18のフリースローで先制。千葉は積極的にミドルシュートを打つが決まらず、後半の立ち上がりもリバウンドを確実にものにした東京が点差を広げていく。たまらず千葉は残り4分31秒でタイムアウトをとり作戦を立てるが流れは変わらず、53－22東京リードで3Pが終了。

第4P　千葉は果敢にインサイドを攻めるがシュートが入らない。対する東京は前半同様、リング下シュートとミドルシュートで点差を広げ、東京75－41千葉で終了。

それぞれが役割をこなし、シュートを確実に決め、試合を優位に進めた東京が全国優勝を成し遂げた。また、千葉は惜しくも優勝を逃したが、2年連続決勝進出を果たし、攻守に全力でプレーする姿が印象的であった。

記録者：岩波

チームA 東京		FIELD GOALS					チームB 千葉		FIELD GOALS				
NO	Player	2P	3P	FT	TOT	PF	NO	Player	2P	3P	FT	TOT	PF
4	難波　宏光						4	宮崎　金吾	2	1	2	9	1
5	三木　力雄	1	1	1	6	1	6	櫻井　政義					
6	柴山　知千						8	藤原　浩孝	3	1		9	2
7	外山　英明	6		4	16		11	井上　孝行					
8	八百板　希望	4		1	9	2	12	高田　雅一					
9	中野　岳治						13	松本　立					
10	高橋　明彦	6		1	13	1	14	山高　裕幸		1		3	2
11	本告　智洋	2			4	1	19	山崎　孝男	1		2	4	3
12	杉浦　文彦						39	小川　晋市	1			2	4
13	越智　直彦						44	岡部　雅行					
14	篠辺　和宏			2	2		67	金子　ﾛﾅﾙﾄﾞ	3			6	2
15	長谷川　聡						72	佐藤　誠	4			8	3
16	岸　哲也						73	堂本　祥希					
17	田上　喜一郎												
18	橋本　晃司	10		5	25	1							